



光明修道院開院記念別時念仏三昧会（大正十五年五月、京都 光明修道院）

光明修道院は大正十四年起工、大正十五年春から京都学生光明会に開放された。遥々参加された九州鳥栖の松本正記氏（第三列右より三人目）は大変感動され、それが鳥栖光明会館設立へと結実して行った。なお、このお別時には光明会の有力者も多数参加されたが、前列左より四人目恒村慧月大姉、第二列左より三人目恒村夏山先生、第三列左より五人目谷安産師、同九人目佐々木千早画伯、最後列右より三人目田中雲暢師等の顔が見える。